

九州三菱自動車販売株式会社

事例紹介

年間 170 万枚を超える帳票印刷の基盤に SVF/RDE を採用 IBM System i の既存プログラムをほとんど改修することなく短期間で構築

Interview



電算室 マネージャー
臼井 謙治 氏 (写真右)

電算室 課長代理
稲葉 剛 氏 (写真中)

電算室 係長
星加 博之 氏 (写真左)

Company Profile

九州三菱自動車販売株式会社

設立：1951年4月2日

所在地：福岡県福岡市

事業内容：三菱、スズキの新車・中古車販売から点検・整備まで、自動車販売に関わるあらゆる事業を展開。

URL：

<http://www.kyushu-mitsubishi-motors.co.jp/>

▲帳票サンプル

リコーの PrintAssistant 機能搭載プリンターで パフォーマンス向上とコスト削減を両立

地球に優しいクルマ作りを 先進のコンピュータで支援

九州北部および中部に 80 拠点以上のネットワークを持つ九州三菱自動車販売。1951年の会社設立から 60 年以上、地域密着の経営基盤により、顧客との信頼関係を築きあげてきた。三菱系トップクラスの規模のディーラーとして、メーカーや商品に経営を左右されない柔軟な組織を構成し、新車販売のみに頼らず国内需要に見合った経営計画を実行する。

三菱自動車は電気自動車をいち早く商用化したメーカーであり、Drive@earth (ドライブ・アット・アース) というコンセプトを展開。走行中の CO2 排出ゼロ、地球温暖化防止に貢献する電気自動車 [i-MiEV (アイ・ミーブ)] をはじめ、世界の環境基準をクリアしながら、走りの楽しさにあふれた、地球と共生できるクルマ作りを目指している。

電算室 参与 部長の松本 登久司氏は、「地球に優しいクルマ作りと同様に、早い時期から先進のコンピュータを導入し、業務の効率化や生産性の向上を推進してきました」と話す。この取り組みの一環として、各販売拠点に設置されたプリンターへの帳票出力システムを再構築することを決定。大量印刷を支える帳票基盤として SVF/RDE を採用した。

オーバーレイ搭載プリンターの 作業負荷とコスト低減を目指す

九州三菱自動車販売では、IBM System i で稼働している基幹システムから帳票データを作成し、レーザープリンターに搭載されたハードディスクドライブ (HDD) 上に登録されているオーバーレイを重ねて帳票を印刷していた。オーバーレイは罫線や網掛け、飾り文字などで構成され、基幹システム

で作成された印刷データの上に重ねることで帳票を作成する仕組みだが、これはいくつかの課題があった。

電算室 マネージャーである臼井 謙治氏は、次のように語る。「課題はプリンターがオーバーレイ機能に対応したものに限られてしまうために、もしプリンターが故障したら、ほかのプリンターに印刷できないことです。そこで 5577 エミュレータに依存することなく、自由にプリンターを選択したいと考えていました」

またオーバーレイに変更があった場合や新たなオーバーレイを追加する場合、各拠点に設置されている約 100 台のプリンターの HDD に、ネットワーク経由でオーバーレイを追加、変更する作業を行わなければならなかった。臼井氏は、「この作業の負荷軽減と、それに伴うコストの削減も課題でした」と話している。

年間 170 万枚の帳票出力を支える 帳票出カシステムを SVF/RDE で実現

自動車の販売では、大量の帳票が印刷される。九州三菱自動車販売でも、1 年間で約 96 万枚の請求書、約 60 万枚の有償・無償の部品伝票、約 21 万枚の新車見積がレーザープリンターから印刷されていた。また、約 59 万枚の修理伝票、約 38 万枚の作業指示書、約 3 万枚の新車注文書がドットインパクトプリンターで複写伝票に出力されている。

九州三菱自動車販売では、2010 年より帳票システム再構築の検討を開始。いくつかの製品を検討した結果、プリンターメーカーであるリコーから提案された SVF/RDE の採用を決定した。臼井氏は、「オーバーレイが必要な 26 種類の帳票から SVF/RDE 環境に移行しています。当初は別の外資系ベンダーの帳票ツールを導入する予定でしたが、サポ

導入背景

- オーバーレイに依存しないプリンターの選択
- プリンターのメンテナンス作業負荷の軽減

導入ポイント

- SVFX-Designer の開発生産性
- 強力なサポート体制
- 明確な導入コスト

導入効果

- 劇的な開発生産性の向上
- 帳票システム一元化による作業負荷軽減
- 印刷パフォーマンスの大幅な向上

ートが不安で課金体系も複雑でした」と話す。

今回、構築した帳票出力システムは、センターに設置された IBM System i で作成された帳票データを、帳票スプールデータとして SVF/RDE に登録し、80 拠点、約 700 台の PC と約 100 台のプリンターから印刷する仕組み。臼井氏は、「帳票サーバーを各拠点に置くのではなく、センターで集中管理するのがポイント。この仕組みは非常に重要でした」と話している。

「帳票サーバーをセンターに設置し、スプールデータを一元管理することで、帳票フォームの追加や変更もセンター側で一括管理できます。これにより、作業負荷を大幅に軽減することができます」(臼井氏)。

劇的に開発工数を削減 大量印刷のスピードも 3 倍に

今回、最初に稼働したのは請求書の印刷システム。2011 年 6 月から開発をはじめ、約 1 カ月で稼働した。残りのシステムも、数カ月以内で開発されている。

臼井氏は、「RPG プログラムで SCS データを出力する仕組みを開発することを考えると、コベルコシステムの e-SYOHSI^{※1}で CSV データを作成し、SVF/RDE で帳票を作成する組み合わせは、劇的に工数を削減できました。また IBM System i で稼働している既存のプログラムを、ほとんど改修することなく利用できました」と話す。

また SVFX-Designer を活用したことで、帳票の見栄えも以前のオーバーレイに比べて格段によくなった。臼井氏は、「まだ SVFX-Designer の全機能の 2 割程度しか使っていないので、今後使い慣れてくるとさらに高品質な帳票を短期間で実現できるようになるでしょう」と話している。

さらに現在は、約 100 台のプリンターのうち、20 台程度しか稼働していないために、すべてのプリンターが稼働した場合のネットワーク負荷なども検証していかなければならない。しかしリコーのプリンターには、IPSiO リモートプリント for RDE^{※2}により PrintAssistant (PA) 機能が搭載されていることからネットワーク負荷を軽減できる。

「リコーの担当者と数百枚の帳票をどれくらいの時間で出力できるかを何度も検証し、ベストの設定ができました。たとえば 400 ページの請求書を印刷するテストで、当初は 3 分程度かかっていましたが、1 分弱に短縮できました。400 ページの出力時間は、以前に比べ大幅に短縮されました」(臼井氏)

あらかじめプリンターに PA が搭載されているので、各拠点に PA サーバーを設置する必要もなく、PA サーバーの導入コスト削減にもつながる。もちろん、SVF/RDE の高い安定性と印刷パフォーマンスの向上は大きな導入効果だった。

そのほかビジネス面での効果を、松本氏は、「SVF/RDE は、非常に高いポテンシャルを秘めています。有効活用することで、高品質な帳票をお客様にお届けすることができます。帳票も含め、常にお客様の期待に応えるサービスを提供することで、顧客満足度のさらなる向上も期待できます」と話している。

人事給与にも SVF/RDE を展開 専用帳票すべての移行を計画

今後、九州三菱自動車販売では、ドットインパクトプリンターで出力している複写伝票も、SVF/RDE 環境に移行していく計画。臼井氏は、「ドットインパクトプリンターは、丈夫で長持ちですが、価格も高く、できるだけ減らしたいと考えています。まずは年間 3 万枚程度出力している新車注文書を SVF/RDE 環境に移行していく予定です」と話す。

また会計システムの財務諸表についても、SVF/RDE でオープン化することを検討している。臼井氏は、「すでに人事給与システムから源泉徴収票を出力する仕組みを、SVFX-Designer を使って数日で開発しました。今後、業務に関わらず専用帳票の印刷はすべて SVF/RDE 環境に移行したいと思っています」と話している。

導入製品

SVFX-Designer

ひとつのデザイナーで多様なジャンルの帳票様式に共通して利用でき、固有の環境に制約されない帳票基盤システムを開発する帳票設計ツール

Report Director Enterprise (RDE)

マルチプラットフォームの環境で、基幹システムの帳票運用を実現する帳票統合スプールサーバー製品

SVF Connect SUITE

一元的な帳票サーバーを短期間に構築できるように、さまざまなシステム環境に適用できるインターフェイスを提供するスイート製品

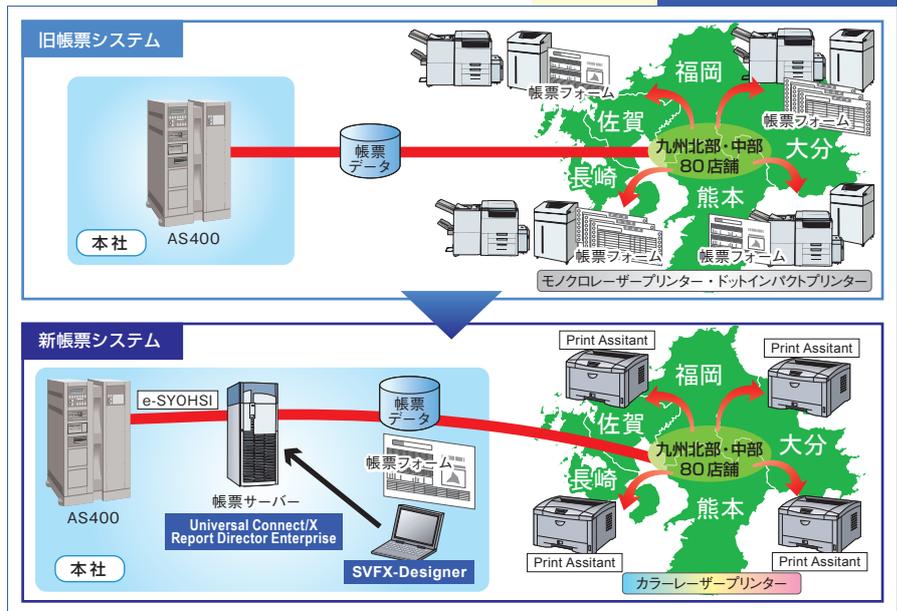
※1: e-SYOHSI

帳票/印刷データ・出力データなど、システムアウトプットに関する管理・運用を効率化する、コベルコシステムのソフトウェア

※2: IPSiO リモートプリント for RDE

Report Director Enterprise の印刷圧縮技術である PrintAssistant と同等の機能を持つことにより、支社や拠点における PC サーバーレス環境を構築する、リコーのソフトウェア

システム構成



ウイングアーク1st株式会社

www.wingarc.com

E-mail: tsales@wingarc.com

[本社] TEL: 03-5962-7300 [大阪] TEL: 06-6225-7481 [名古屋] TEL: 052-562-5300

[福岡] TEL: 092-292-1092 [仙台] TEL: 022-217-8081 [札幌] TEL: 011-708-8123 [新潟] TEL: 025-241-3108

本リーフレットに掲載した会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。掲載内容は 2012 年 5 月現在のものです。



CA0078D1702